



創造 継承

～京都市京セラ美術館・岡崎地区で学ぶ～

2023 sat 2/11

専門家の解説で京都岡崎を学ぶ
3つのフィールドワーク

建築家 青木淳氏による
京都市京セラ美術館の現地建築解説

青木淳氏、建築史家 倉方俊輔氏
講演・対談

10:00～12:00
フィールドワーク

13:00～17:00
美術館見学
講演・対談

※Web参加は
14:00～17:00

参加費
士会会員 2,000円
一般 3,000円
学生 2,000円
Web参加 1,000円

参加お申込・お支払
はこちらのサイトで

PassMarket

イベント詳細は
近建青
Facebook
ページまで



13:00～美術館見学解説 14:00～講演・対談

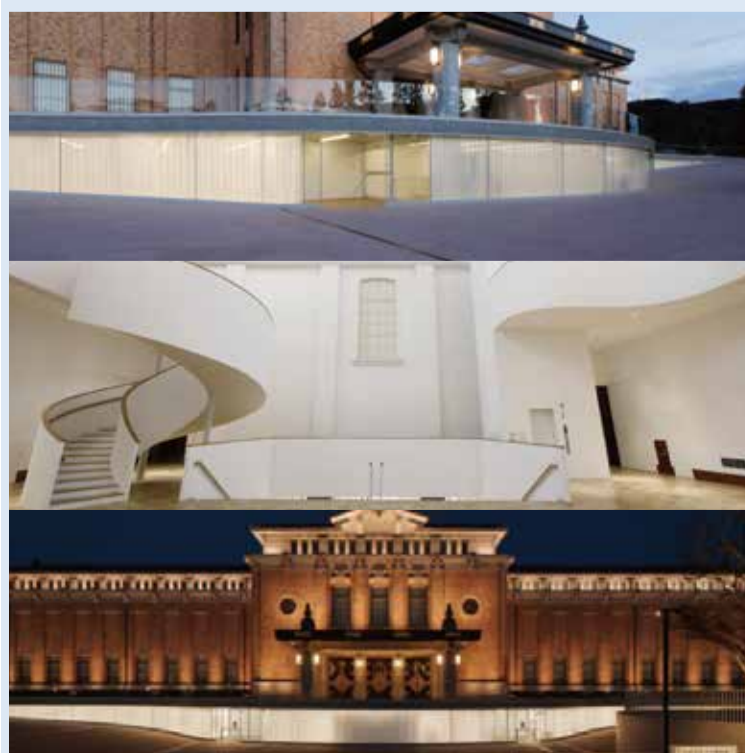


青木 淳氏
AOKI Jun

建築家
東京藝術大学教授
京都市京セラ美術館館長

『京都市京セラ美術館の見学』

2020年に改修工事が終了し開館した京都市京セラ美術館の改修設計を実際に手掛け、現在同館館長も兼任されている青木淳氏に解説していただきながら館内を見学します。京都市京セラ美術館は1933年に竣工した歴史ある建築物です。既存建築物の魅力を引き継ぎつつ、現代、そして未来に向けて改修設計されたその内容に直接学ぶことができます。



10:00～フィールドワーク(1) 解説
14:00～講演・対談



倉方 俊輔氏
KURAKATA Shunsuke

建築史家
大阪公立大学教授

『ロームシアター及び近代建築の見学(保存・再生)』

午後の舞台でもある京セラ美術館と同様に、既存の建築物の魅力を引き継ぎつつ、現代、そして未来に向けて改修設計されたその内容に直接学ぶことができます。



10:00～フィールドワーク(2) 解説



京都岡崎魅力づくり
推進協議会

藤井 容子氏
FUJII Yoko

ライター
コラボレーター
まいまい京都事務局

『琵琶湖疏水記念館と無鄰菴の見学(岡崎地区の歴史)』

京都の水の源である琵琶湖疏水とその水を利用して生まれた庭文化を学ぶ場として、水がふんだんに使われた美しい庭のある無鄰菴(むりあん)を見学します。琵琶湖疏水は明治維新以降の人口減少などで衰退した都市を再生させる為に計画され、実際にその水で文化的景観が形成されるまでに発展した歴史を学びます。



10:00～フィールドワーク(3) 解説



恵谷 浩子氏
EDANI Hiroko

奈良県文化財研究所
文化遺産部主任研究員

『岡崎地区の街並み見学(地域との共存)』

京セラ美術館から南禅寺方面へ街歩きを行い、蹴上インクラインや周辺の屋敷群を見学します。これらを通して疏水が生んだ土地利用や街並み、地域の発展について広く学びます。「京都岡崎の文化的景観」について調査・研究をされている奈良文化財研究所の恵谷浩子主任研究員に見どころを解説いただきます。

